

第4回 京都大学 原子炉実験所 原子力安全基盤科学研究シンポジウム

Radiological Issues for Fukushima's Revitalized Future

福島への復興に向けての 放射線対策に関するこれからの課題

放射線に関連する分野の科学者と一般の方々が、講演やサイエンスカフェなどを通じ、福島への復興に向けて今後取り組むべき課題について意見交換します。自治体関係者、先生、学生、ご家族の皆様も、仕事や地域を超えて、是非お集まりください。

場所：福島市 飯坂温泉 パルセいいざか (飯坂温泉駅 徒歩7分)

日程：2015年 5月30日(土)~31日(日)

トピックス

環境放射線・外部被ばく評価 / 除染・廃棄物

環境放射能・内部被ばく評価 / 発電所サイト内の諸課題



30日 10:30~17:40 専門家の発表、討論 (同時通訳有)
(専門家中心ですが、どなたでもご参加頂けます)

31日 9:00~16:00 海外の専門家による特別講演 (同時通訳有)
パネルディスカッション (同時通訳有)
サイエンスカフェ
(放射線対策に関する研究展示を見ながら、科学者と自由にお話してください。)

同時開催
学生ポスター



サクロ・クオーレ・カトリック大学
フランカ カリーニ教授
「果物の中の放射性核種」



ウクライナ国立戦略研究所
環境技術安全部主席専門官
オレグ・ナスフィット氏
「チェルノブイリ絶望から回復まで」

参加無料

参加希望の方は Web から事前にお申し込みください。
当日も参加受付いたします。

原子力安全基盤科学研究シンポジウム ホームページ

http://www.rrr.kyoto-u.ac.jp/anzen_kiban/sympo/sympo2015/index.html



主催：京都大学 原子炉実験所

後援：福島大学 環境放射能研究所

福島県 福島県教育委員会 福島市 日本原子力学会 日本放射化学会 日本放射線影響学会 日本保健物理学会

協賛 協力：飯坂温泉観光協会 飯坂温泉旅館協同組合 福島市観光コンベンション協会 福島民友新聞社 福島民報社

2015年5月30日(土) プログラム

- 9:30 - 受付開始
- 10:30-10:40 開会挨拶 川端 祐司 (京都大学 教授)
- 10:40-10:50 主旨説明 高橋 千太郎 (京都大学 教授)
- 10:50-12:10 セッション1 除染・廃棄物 座長：米田 稔 (京都大学 教授)
- S1-1 放射性物質を含む除去土壌、廃棄物の適正処理 大迫政浩 (国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター センター長)
- S1-2 福島県におけるリスクコミュニケーションへの取り組み 福島県
- S1-3 除染効果について 森 芳友 (京都大学工学研究科博士後期課程 / 環境省)
- 12:10-13:10 昼食、ポスターセッション準備
- 13:10-14:30 セッション2 環境放射線・外部被ばく 座長：斎藤 公明 (日本原子力研究開発機構 特別研究員)
- S2-1 走行サーベイシステム KURAMA の開発と運用 谷垣 実 (京都大学 助教)
- S2-2 事故 30 年後までの空間線量率の予測 木名瀬 栄 (日本原子力研究開発機構 研究主幹)
- S2-3 事故後初期と復興期における外部被ばく線量の評価 石川 徹夫 (福島県立医科大学 教授)
- 14:30-15:00 ポスターセッション (コーヒープレイク)
- 15:00-16:20 セッション3 海産物・農作物・食品・内部被ばく 座長：内田 滋夫 (放射線医学総合研究所 特別上席研究員)
- S3-1 日本近海における海産生物中放射性核種の変遷 高田 兵衛 (海洋生物環境研究所 主査研究員)
- S3-2 福島県産農作物の放射性核種濃度 塚田 祥文 (福島大学 教授)
- S3-3 トータルダイエットスタディによる福島第一原子力発電所事故後の放射性物質の預託実効線量の推定 鍋師 裕美 (国立医薬品食品衛生研究所 主任研究官)
- 16:20-17:40 セッション4 サイト内の問題 座長：中島 健 (京都大学 教授)
- S4-1 福島第一原子力発電所の現状について 高儀 省吾 (東京電力株式会社)
- S4-2 苛酷事故を起こした原子炉の廃炉におけるリスク管理について 山口 彰 (東京大学 教授)
- S4-3 福島第一原子力発電所の廃炉戦略と浜通りの復興への動き 山名 元 (原子力損害賠償・廃炉等支援機構 副理事長)

2015年5月31日(日)プログラム

- 8:00 - 受付開始
- 9:00- 9:50 一日目のまとめ 座長：佐藤 信浩 (京都大学 助教)
- セッション1 まとめ 除染・廃棄物 米田 稔 (京都大学 教授)
- セッション2 まとめ 環境放射線・外部被ばく評価 斎藤 公明 (日本原子力研究開発機構 特別研究員)
- セッション3 まとめ 海産物・農作物・食品・内部被ばく 塚田 祥文 (福島大学 教授)
- セッション4 まとめ サイト内の諸問題 中島 健 (京都大学 教授)
- 9:50-10:30 招待講演1 「果物の中の放射性核種」 座長：塚田 祥文 (福島大学 教授)
- 演者：フランカ カリーニ (サクロ・クオーレ・カトリック大学 教授)
- 10:30-10:40 休憩
- 10:40-11:40 パネルディスカッション1 「福島における食・農のこれから」 座長：塚田 祥文 (福島大学 教授)
- パネリスト：石井 秀樹 (福島大学 特任准教授)
- 菅野 昌信 (放射能からきれいな小国を取り戻す会 事務局長)
- 田上 恵子 (放射線医学総合研究所 主任研究員)
- 万福 裕造 (国際農林水産業研究センター 技術促進科長)
- 11:40-14:00 昼食、サイエンスカフェ、ポスターセッション
- 14:00-14:40 招待講演2 「チェルノブイリの失望から回復まで」 座長：高橋 千太郎 (京都大学 教授)
- 演者：オレグ・ナスフィト (ウクライナ国立戦略研究所 環境技術安全部 主席専門官)
- 14:40-14:50 休憩
- 14:50-15:50 パネルディスカッション2 「みんなが集まる福島に向けて」 座長：高橋 知之 (京都大学 准教授)
- パネリスト：飯本 武志 (東京大学 准教授)
- 今泉 理絵 (福島大学 特任助教)
- 菅野 豊臣 ((株) 栄楽館ホテル華の湯 取締役常務)
- 原 尚志 (福島県立福島高等学校 教諭)
- 15:50-16:00 閉会挨拶 高橋 隆行 (福島大学 教授)